

Amy is a student from Finland. She goes to high school in Japan.

エイミー

Her father had to come to Japan for his work, so Amy lives in Japan now with her family.

〈have to ~の過去形〉

She's cheerful and active. Everyone in her class loves her and she has many friends.

彼女のクラスのみな

They enjoy talking with her.

One day, one of her classmates, Masao, spoke to her in English.

〈speak の過去形〉

“Amy, you've been in Japan for only three months, but you speak Japanese very well.”

〈現在完了（継続）〉

〜の間

“Thank you. I like to study foreign languages. I've studied Japanese for over a year.

〈不定詞〉外国語を勉強すること

〈現在完了（継続）〉

I've already learned four foreign languages, English, Swedish, French, and Chinese.

〈現在完了（完了）〉

So Japanese is my fifth foreign language,” Amy said.

5 番目の

Masao was very surprised to hear that and said,

驚いた

〈不定詞〉それを聞いて

“Studying even one foreign language, English, is difficult for me.

〈動名詞〉1つの言語、英語を勉強することでさえ（＝主語）

Why do you study so many languages?”

Amy smiled and said,

ほほえんだ

〈be interested in ~〉〜に興味がある

“I've visited many foreign countries, and I've been interested in their languages.

〈現在完了（経験）〉

〈現在完了（継続）〉

They give me a lot of knowledge about the foreign countries.”

知識

“I see. How many countries have you visited?” said Masao.

〈現在完了（経験）の疑問文〉

“Well, I've visited twelve,” answered Amy.

〈現在完了（経験）〉

Masao said,

“Oh, that's great. I've wanted to go to many foreign countries, but I've never been

〈現在完了（継続）〉 行くこと

〈現在完了（経験）の否定文〉

abroad.”

エイミーはフィンランド出身の生徒です。彼女は日本の高校に通っています。

彼女の父が仕事で日本に来なければならなかったので、エイミーは今、家族といっしょに日本に住んでいます。

彼女は元気がよく、活発です。クラスのみなが彼女を大好きで、彼女はたくさん友だちがいます。クラスのみなは彼女と話すのを楽しんでいます。

ある日、クラスメートの1人のまさおが、彼女に英語で話しかけました。

「エイミー、きみはほんの3カ月日本にいただけなのに、日本語を話すのがとてもじょうずだね。」

「ありがとう。私は外国語を勉強するのが好きなの。日本語は1年以上勉強しているのよ。

私はすでに4つの外国語、英語、スウェーデン語、フランス語、中国語を学んだわ。

だから日本語は私にとって5番目の外国語なの。」エイミーは言いました。

まさおはそれを聞いてとても驚き、言いました。

「1つの外国語、英語を勉強することでさえ、ぼくにとっては難しいよ。

どうしてそんなに多くの言語を勉強するの？」

エイミーはほほえんで言いました。

「私はたくさんの国を訪れたことがあって、その言語に興味をもっているの。

それら（の言語）はその国について多くの知識を私に与えてくれるわ。」

「なるほどね。きみはいくつの国を訪れたことがあるんだい？」まさおが言いました。

「ええっと、12カ国は訪れたわ。」エイミーが答えました。

まさおは言いました。

「わあ、すごいね。ぼくはたくさんの国に行きたいと思っているけれど、一度も海外に行ったことがないんだ。」

Amy said, “You’ll have a chance to go abroad some day.”

海外に行く

“I hope so. Well, Amy, how do you study foreign languages?”

asked Masao. Amy answered,

“When I find some useful words and sentences, I always say them many times.”

私は（いくつかの）役に立つ単語や文を見つけるとき、

何回も

I try to use them when I have a chance to speak to someone.

～（しようと）する

私はだれかと話す機会があるとき

Masao, I’ll tell you something useful to remember.”

何か役に立つこと

覚えているべき

“What is it?” asked Masao.

Amy smiled and said, “Practice makes perfect.”

習うより慣れよ。

エイミーは「いつか海外に行く機会があるわよ。」と言いました。

「そう願っているよ。それで、エイミー、きみはどうやって外国語を勉強するの？」

まさおがたずねました。エイミーは答えました。

「私は役に立つ単語や文を見つけたとき、いつもそれらを何回も言うの。

だれかと話す機会があるときには、それらを使おうとしてるわ。

まさお、覚えていると役に立つことをあなたに教えてあげるわ。」

「それは何？」まさおはたずねました。

エイミーは、「習うより慣れよ。」とほえんで言いました。